

西東京市立東伏見小学校

校長 中嶋 太

西東京市東伏見6-1-28

TEL 042-463-4517

かけはし



学校HP

ことのほ (言葉)

生活指導主任 高山 勝人

爽やかな秋空のもと運動会を無事に、そして大成功で終わることができました。たくさんの保護者の皆様の応援、大変にありがとうございました。

次は、学習発表会です。3学期実施予定ですが各学年とも計画や準備を進めています。運動会同様、どの子もみんなで発表会を創り上げることをとても楽しみにしています。

発表の内容は学年に応じて様々ですが、誰かを演じる場合があります。誰かを演じるときには、表情や動作なども含めて役作りをしますが、やはりセリフが一番大きな役割をもっています。それは、その人がどんな言葉話し、そして、どう話すかでキャラクターのイメージを大きく左右するからです。少し詳しく言うと「言葉を話す」＝「言葉遣い」なのです。

どんな言葉を選んで話すかによって、その人の人柄や育ってきた環境などを聞く人に想像させることができます。また上品な言葉なら“育ちのよさや落ち着き”、乱暴な言葉なら“威勢の良さや攻撃的な感じ”などというようにある程度共通したイメージを与えることができます。

言葉遣いは、その人の話し方の癖でもあるので、例えばポジティブな言葉を多く選ぶか、ネガティブな言葉を多く選ぶかでその人の印象が変わってきます。また同じ言葉でも「どのような調子で言うか。」によっても印象が変わります。同じ「おはよう。」という言葉でも元気に言うか、ぼそぼそと言うかでその人が今どんな心の状態かが分かります。つまり言葉は、語る人の内面を映し出す鏡とも言えます。

東伏見小学校では教育活動の中で、言葉に重点をおいた取組を行っています。1学期には各学級で、心を温かくする「ふわふわ言葉」や、嫌な気持ちや悲しい気持ちにさせる「ちくちく言葉」について考えました。お礼や挨拶、励ましの言葉など学年や学級によって様々なふわふわ言葉が集まりました。

心を元気にしたり温かくしたりする言葉を使うということは、友達や周りの人の心に水をあげていることと同じことです。また、自分の言葉は自分が一番多く耳にしますから、自分の心もポジティブにしてくれます。

栄養たっぷりの木にたくさんの実がなるように、良い言葉を吸収した栄養たっぷりの心から、また良い言葉が生まれてきます。その循環を作る環境を学校の中でもぜひ育てていきたいです。

1 1 月はふれあい月間。学校でも一層、言葉について意識する期間にしていきたいと思います。

ご家庭でもお子様と「心を育てる言葉」について考える機会をもっていただければと思います。

☆11月 生活目標 「ありがとう」の気持ちを伝えよう

「ありがとう」は、言った人も言われた人も温かな気持ちになる魔法の言葉です。周りから支えられたり、助けられたりしたときに、当たり前と思わず、感謝の気持ちを伝えることが大切です。11月はふれあい月間です。積極的に周りの人に感謝の気持ちを伝えていけるよう、学校でも声をかけてまいります。

生活指導部

